



© 田村邦男

小和田哲男氏プロフィール
静岡大学名誉教授・文学博士、
(公財) 日本城郭協会理事長
専門は日本中世史、特に戦国時代史研究の
第一人者として知られる。
NHK大河ドラマの時代考証も多数担当。
吉良氏800年祭実行委員会特別顧問。
西尾市シティプロモーション特命大使。

NHK
大河ドラマ「どうする家康」
時代考証の小和田哲男氏が
吉良氏800年祭のフィナーレを飾ります！



小和田哲男氏歴史講演会

演題 「吉良氏800年祭の成果と課題」
—— どうする 家康と吉良 ——

吉良氏800年祭

鎌倉時代
南北朝時代
室町時代
戦国時代
安土桃山時代
江戸時代

令和5年

日時 3月25日 (土)

開場 13:30 ※都合により開場を早める
場合があります。

開演 14:00 終演 15:30

場所 西尾市文化会館大ホール

西尾市山下町泡原 30 番地 0563-54-5855

定員 600名 (要予約)

※申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
※申し込み方法の詳細は裏面をご覧ください。

主催 吉良氏800年祭実行委員会

【問い合わせ先】
西尾市教育委員会事務局
文化財課 (0563-56-6660)

入場無料
資料代 500 円

吉良氏800年祭協賛企業等

(公社) 西尾市シルバー人材センター 西尾ロータリークラブ (株) 三菱UFJ銀行
スギホールディングス(株) 西尾信用金庫 西三河農業協同組合
西尾・岩村友好の会 吉良公史跡保存会
(一社) 西尾市観光協会 康全寺 妙喜寺 プリ・テック(株)
安泰寺 (株) エムアイシーグループ 向春寺 延命寺
盛巖寺 (株) 葵製茶 (株) 松鶴園

※新型コロナウイルス感染症の影響により
講演会を中止する場合があります



東条城跡



藤波原古戦場

吉良氏略年表

鎌倉時代

南北朝時代

室町時代

戦国時代

安土桃山時代

江戸時代

- 1221 承久の乱。足利義氏が三河国守護・吉良荘地頭に
義氏が西条城・東条城を築く？
- 1228 このころから初代足利（吉良）長氏が鎌倉幕府に出仕
- 1251 長氏が鶴ヶ崎天満宮を造営？
- 1271 二代足利（吉良）満氏が実相寺を創建
- 1275 このころ満氏が越前国守護に
- 1285 霜月騒動。満氏の嫡子貞氏が討たれる
- 1331 満氏が順成寺を開創？
- 1333 三代足利（吉良）貞義が足利尊氏に鎌倉討幕を勧める
鎌倉幕府が滅びる
- 1336 建武式目の制定。室町幕府成立
- 1338 足利尊氏が征夷大將軍になる
- 1341 このころまでに貞義が浜松荘を領有
- 1343 貞義死去。このころまでに名字が足利から吉良に
- 1345 天龍寺供養の随兵に五代吉良満貞が加わる
- 1350 親応の擾乱。四代吉良満義が足利尊氏・高師直方、
満貞が足利直義（尊氏弟）方に
- 1356 満義死去 東条吉良氏の分立？
- 1360 このころ満貞が幕府（北朝）に帰順
- 1362 満貞が実相寺に釈迦三尊像を造立
- 1384 満貞死去
- 1391 六代吉良俊氏が室町幕府の要職引付頭人に
- 1392 相国寺供養の随兵に俊氏が加わる
- 1409 七代吉良義尚が三河華藏寺を保護
- 1419 義尚が浜松荘に賀久留八幡宮を造立
- 1440 このころ吉良氏が足利氏御一家（御三家）筆頭に
- 1465 八代吉良義真が京都の屋敷で盛大な犬追物を催す
- 1467 応仁・文明の乱（～77）
- 1481 義真死去。九代吉良義信が家督を継ぐ
- 1493 明応の政変
- 1508 明応の政変で失脚した足利義尹（義種）が將軍に復帰。
吉良邸が仮御所に
- 1511 將軍義尹（義種）京都を出る。十代吉良義元がこれに従い、
吉良邸の仮御所は放火される
- 1516 義信が家督を十一代吉良義興に譲る
義興の父義元はこれ以前に死去
- 1517 吉良氏が浜松荘の領有権を失う
- 1520 ～30の間に義興が今川氏親の娘（義元姉）と結婚
- 1540 十二代吉良義興が西尾城で討死
- 1549 吉良氏が今川氏に攻められ、十三代吉良義安は
矢文で降伏を迫られる
- 1555 西尾城が今川氏に攻められる。義安が57年までに駿河国駿田
に幽閉される
- 1560 織田方の兵火で実相寺が焼失？
桶狭間の戦い。今川義元死去
- 1561 藤波騒動の戦い。十四代吉良義昭が東条城で松平元康（のち
の徳川家康）に敗戦
- 1563 ～64、三河一向一揆
- 1564 松平家康（徳川家康）が義昭を再び破る。吉良氏没落
- 1569 義安死去
- 1573 室町幕府が滅びる
- 1590 徳川家康が関東に移封。三河武士は関東へ移る
- 1600 関ヶ原の戦い
近世吉良氏初代吉良義定が華藏寺を再興
- 1603 徳川家康が征夷大將軍になる。江戸幕府成立
- 1610 このころ二代吉良義弥が高家として活動を開始
- 1627 義定死去
- 1641 四代吉良義央誕生
- 1643 義弥死去
- 1663 義央長男三郎（のちの上杉綱憲）誕生
- 1664 米沢藩三代藩主上杉綱嗣（義央妻富子の兄）急死。義央長
男三郎が上杉家の養子に
- 1668 三代吉良義冬死去
- 1677 義央初めて吉良荘を訪れる
- 1678 義央次男三郎誕生
- 1685 義央次男三郎死去
- 1686 義央が黄金堤を築く？
五代吉良義周（上杉綱憲次男）誕生
- 1688 義央が富好新田を開墾
- 1701 義央が江戸城大廊下で赤穂藩主浅野長矩に斬られる
- 1702 義央が赤穂浪人に襲撃され殺される
- 1703 義周が信州諏訪に配流
- 1706 義周死去。三河吉良氏嫡流断絶

吉良氏800年祭

小和田哲男氏 歴史講演会

演題 「吉良氏800年祭の成果と課題」

— どうする 家康と吉良 —

申込方法

令和5年2月28日(火) 必着

往復はがきで

〒445-0847 西尾市亀沢町 480

西尾市文化財課「小和田氏講演」係へ。

※記載不備の場合は無効とさせていただきます。

※消せるペン（フリクションなど）は使用不可。

お一人様
につき
1枚

往復はがきへの記載事項

▼往信の文面 ……申込者の郵便番号・住所・氏名・電話番号

▼返信の宛名面……申込者の郵便番号・住所・氏名

▼返信の文面 ……白紙のまま（何も書かないこと）

往信おもて

63

往信

西尾市亀沢町 480
西尾市文化財課
「小和田氏講演」係

〒

返信うら

※ここは
白紙のまま

返信おもて

63

返信

郵便番号
住所
氏名

〒

往信うら

郵便番号
住所
氏名
電話番号

場 所

西尾市文化会館 大ホール

西尾市山下町泡原 30 番地 TEL0563-54-5855



名鉄西尾駅から徒歩20分

または六万石くるりんバス 市街地線・右まわりコースで12分「@文化会館」下車